

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	広島県	事業実施主体	広島県	地域再生計画名	瀬戸内・備後灘の漁業・観光・生活を支えるみなとづくり計画
計画期間	令和4年度～令和10年度	評価責任者	広島県土木建築局 港湾漁港整備課長		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	目標		基準年度		年度	中間実績	基準年度						
	目標 1	竹原市の観光客数の増加	612千人	R3	814千人	R7	1,070千人	938千人	R10	○	指標 総数	達成 数	中間目標は達成できている。
	目標 2	三原市、福山市の属地陸揚量の現状維持	3,641トン	R3	3,641トン	R7	3,534トン	3,641トン	R10	×	3	2	整備途中であり効果の発現には至っていないが、事後評価時において目標が達成されるよう、引き続き整備を推進していく。
目標 3	尾道市のサイクリスト客の増加	120千人	R3	160千人	R7	280千人	184千人	R10	○			中間目標は達成できている。	
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
特別措置を適用して行う 事業			計画	中間年度 (R7)	最終実績 見込み								
	港湾整備事業 外郭施設 係留施設 臨港交通施設 港湾環境整備施設	155m 2基 180m 0.5ha	116m 2基 0m 0ha (予算換算)	172m 3基 180m 0.5ha	整備効果をより向上するために、当初予定していなかった外郭施設の延長の増や係留施設の追加が生じている。 現時点では、概ね計画通りに進捗しているため、施設整備の早期完成と効果の発現を目指し、引き続き事業推進を図る。								
	漁港整備事業 係留施設	6基	1基 (予算換算)	6基	整備途中であり効果の発現には至っていないが、順次整備を進めており、引き続き事業推進を図る。								
その他の事業	瀬戸内 海の道構想	瀬戸内の魅力を世界に発信し、瀬戸内の認知度とブランド力を高め、国内外からの誘客増大を目指すことで、地域の再生を図っていく取組を実施。			地方創生の実現に向けて、国内外からの多くの観光客を誘致するべく、瀬戸内の魅力の国内外へのプロモーションや受入環境の整備、地域産品の開発誘導等、官民が連携しながら、瀬戸内ブランドの確立に取り組んでいる。								
	瀬戸内クルージング促進事業	「瀬戸内海クルージングポータルサイト」を運営し、今までにない形の新たな観光需要の掘り起こしを実施。			県内のビジター桟橋や横浜ポートショー等でのクルージングアンケート結果等の情報発信を行っており、県内におけるプレジャーボートの利用促進を図っている。								
	田島横島食文化伝承会組織の活動	地域の特産品を料理教室やアンテナショップでのPR活動など、幅広く周知し、漁業振興の活性化に繋がる取組を実施。			田島横島食文化伝承館での魚のさばき方体験等の料理体験により漁業振興が図られ、地域の活性化に繋がる取組が実施されている。								
	備後燧地区における水産環境整備事業	増殖場の整備により魚介類の稚仔魚育成の場となる藻場を造成し飼料環境や生息環境を改善することで水産資源の増大や漁獲量の増加を図る。			増殖場整備により魚介類の稚仔魚育成の場となる藻場を造成し、併せて種苗放流を行うことで水産資源の増大や漁獲量の増加を図っている。								
	イベント交流による活動支援	漁業者によって、観光客が訪れるイベントや、地魚を販売するイベントが行われ、観光客と地元住民が交流する場を設けることにより地域振興を図る。			横田漁港では、「横島底曳網観光」や「漁師の浜売り」を定期的に実施し、漁業振興により地域の活性化を支援している。この取組等により、当該地域への移住者が増え、地魚を使った移住者との交流イベントが実施されるなど、さらなる地域活性化のための取組が図られている。								
	瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ2022」	大規模での国際サイクリング大会を開催することにより、世界における“サイクリストの聖地＝しまなみ海道”を情報発信し、地域の振興・活性化を図る。			令和4年度に瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ2022」を開催している。また、同大会の定期的な開催（2024、2026）により、しまなみ海道エリアの交流人口の拡大を通じた地域の振興・活性化を図っている。								
	計画外で独自に実施した事業	該当なし											
③評価方法	関係部署で目標値の実施状況に関する評価・検討を行い、学識経験者に説明し、意見徴収した結果を踏まえ、計画全体の評価および今後の方針とした。												
④中間評価の公表方法	広島県ホームページ												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、港整備交付金を活用した港湾整備と漁港整備を一体的に行うことにより、県東部の地場産業を活かした生活や、尾道を中心とした特徴的な観光と連携することで、竹原市の観光客数の増加および三原市・福山市の属地陸揚量の現状維持、尾道市のサイクリスト客数の増加を図ることを目的としている。なお、目標2については、整備途中であり効果の発現には至っていないが、事後評価時において目標が達成されるよう引き続き地域再生計画の事業展開を図っていく。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無）												
	令和9年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円												
⑦今後の方針等に対する 対応													